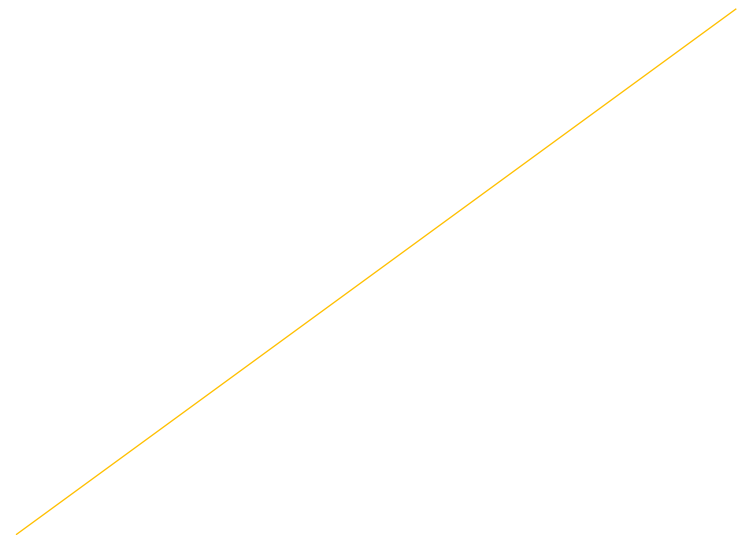


事務局説明資料 ～スポーツツーリズム～

地域スポーツの更なる発展



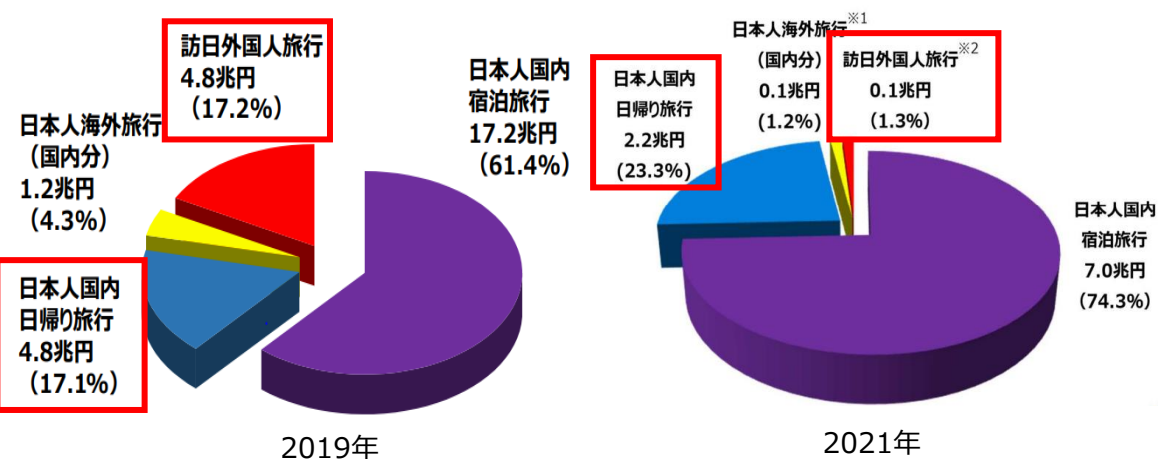
観光産業の現状：日本国内の旅行消費額

- 「日本人の国内旅行消費額」は増加傾向であったが、2020年と21年はコロナ禍の影響により**コロナ前の半分以下**にまで減少。
- 「訪日外国人の旅行消費額」は、近年、急拡大して2019年には「日本人の国内日帰り旅行消費額」の規模に並んだ。しかし、コロナ禍の影響により、**コロナ前の1/10以下**の規模にまで減少。

表. 日本国内における旅行消費額の経年変化

(兆円)

	2012年	13	14	15	16	17	18	19	20	21
日本人国内宿泊旅行	15.0	15.4	13.9	15.8	16.0	16.1	15.8	17.2	7.8	7.0
日本人国内日帰り旅行	4.4	4.8	4.5	4.6	4.9	5.0	4.7	4.8	2.2	2.2
日本人海外旅行(国内分)	1.3	1.2	1.1	1.0	1.1	1.2	1.1	1.2	0.3	0.1
訪日外国人旅行	1.1	1.4	2.0	3.5	3.7	4.4	4.5	4.8	0.7	0.1
合計	21.8	22.8	21.6	24.8	25.8	26.7	26.1	27.9	11.0	9.4



※1 2021年の「日本人海外旅行(国内分)」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外旅行に関する回答数が少なかったため、試算値
 ※2 2021年の「訪日外国人旅行」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年は1-3月期、4-6月期、7-9月期の調査が中止となったため、2021年10-12月期の全国調査の結果を用いた試算値

図. 日本国内の旅行消費額動向

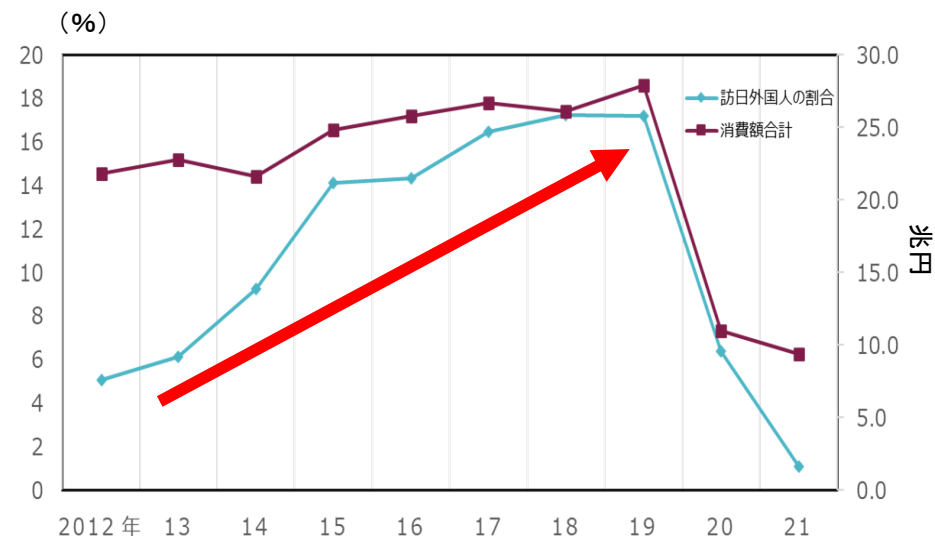


図. 訪日外国人の旅行消費が国内旅行消費額に占める割合

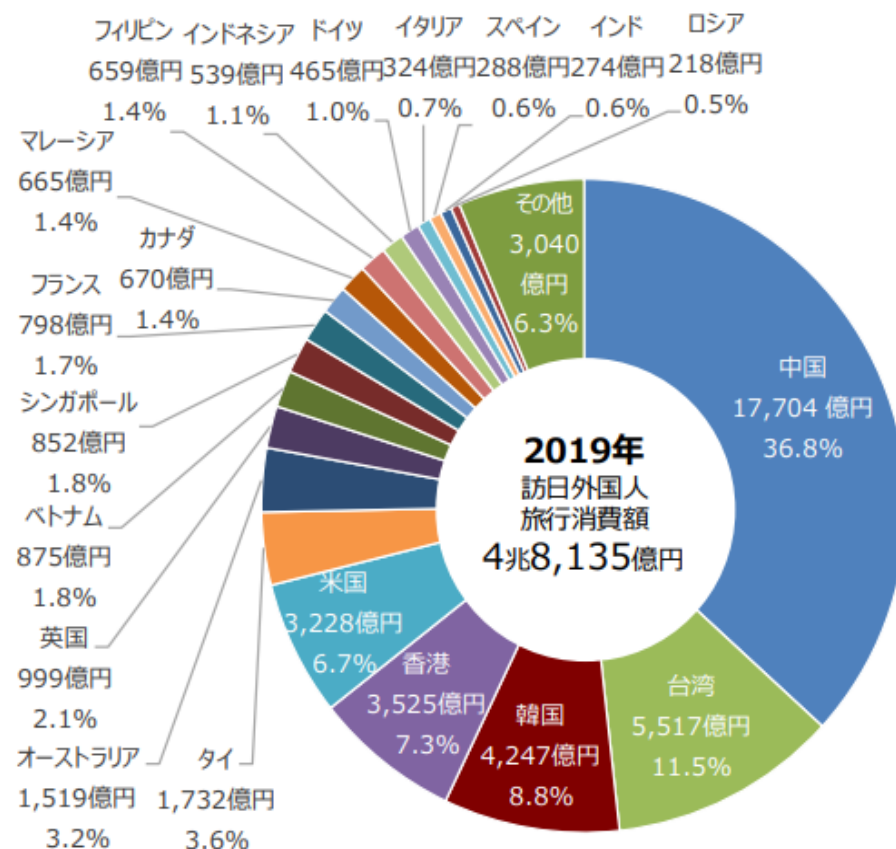
観光産業の現状：訪日外国人観光客の旅行消費額（国別）

- 訪日外国人の旅行消費額を国・地域別にみると、**中国・台湾・韓国などの東アジアが多く、コロナ前の2019年にはこの3ヶ国・地域で全体の半分超を占めた。**次いで、**東南アジア、米国、EU、豪州**など。

■ 旅行消費額の多い国・地域 ①中国 ②台湾 ③韓国

- 国籍・地域別では、①中国 ②台湾 ③韓国 ④香港 ⑤米国の順で旅行消費額が多い。
- 上位5ヶ国・地域で、訪日外国人旅行消費額全体の71.1%を占める。

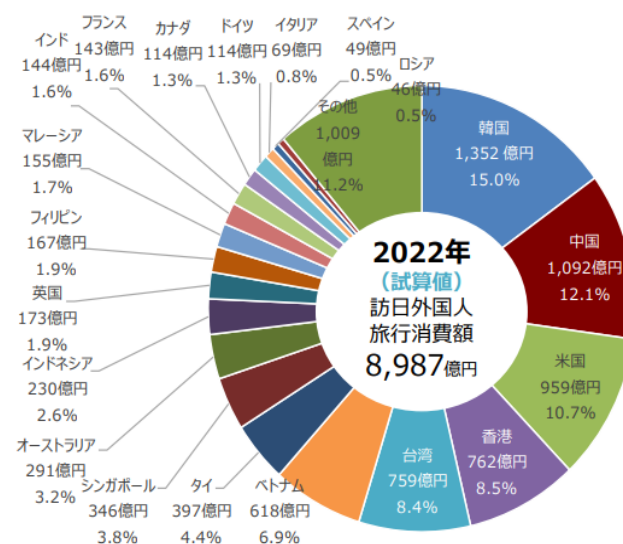
【図表】国籍・地域別の訪日外国人旅行消費額と構成比



■ 旅行消費額の多い国・地域 ①韓国 ②中国 ③米国

- 国籍・地域別では、①韓国 ②中国 ③米国 ④香港 ⑤台湾の順で旅行消費額が多い。
- 上位5ヶ国・地域で、訪日外国人旅行消費額全体の54.8%を占める。

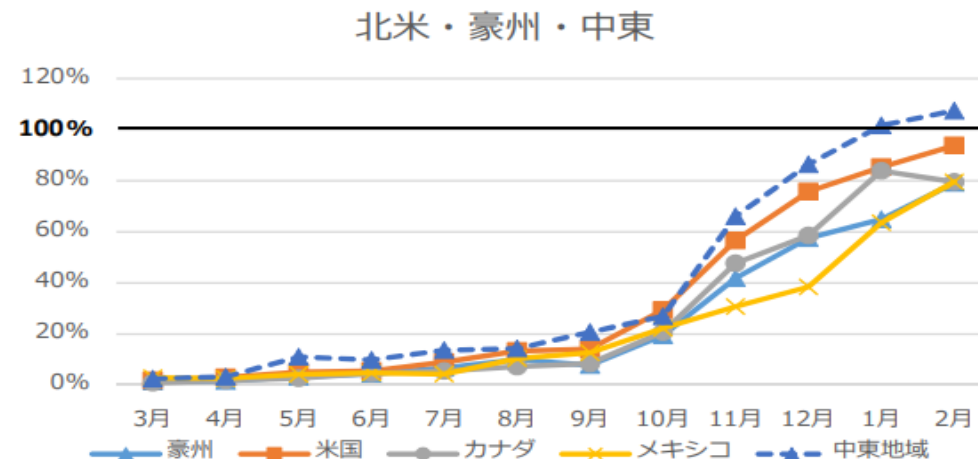
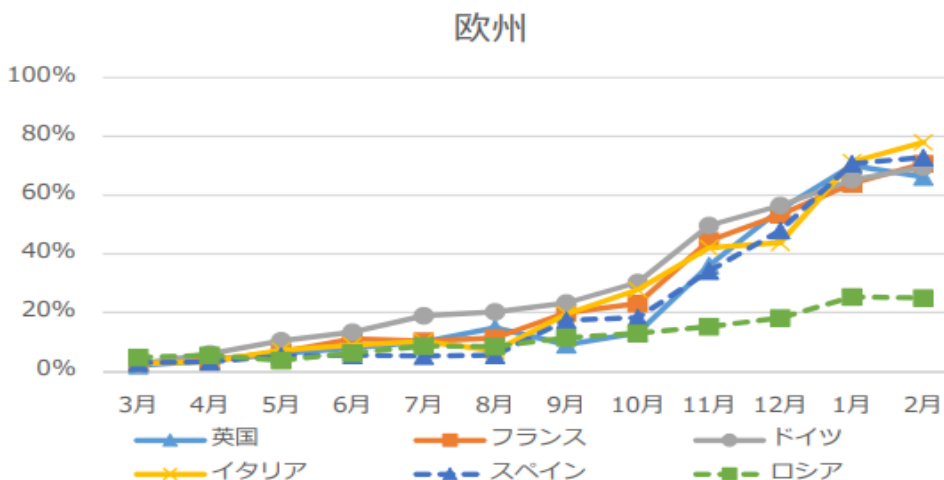
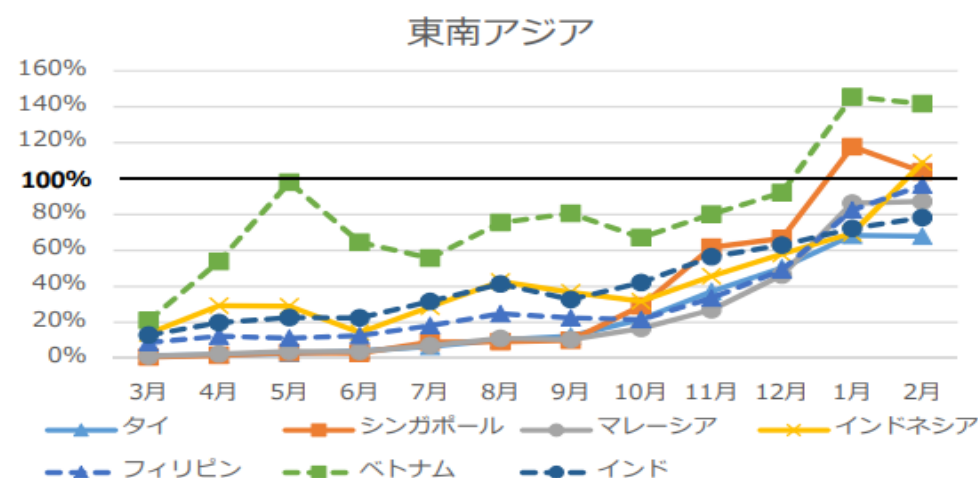
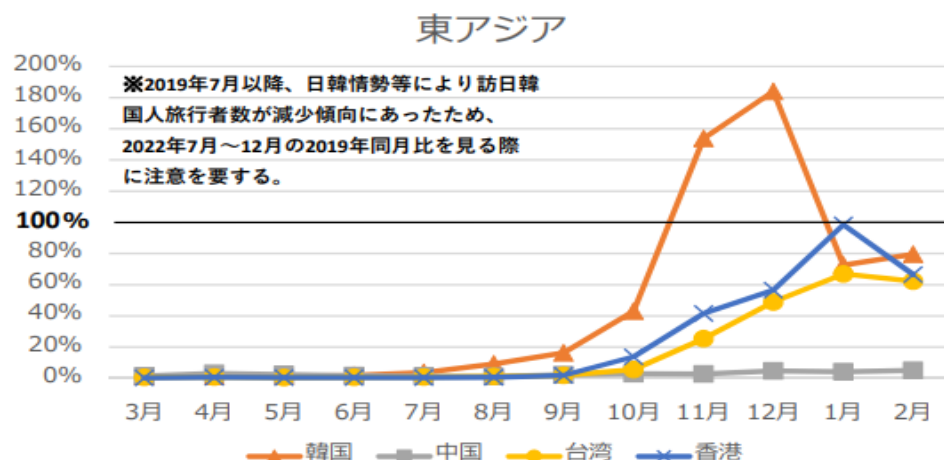
【図表】国籍・地域別の訪日外国人旅行消費額と構成比



観光産業の現状：訪日外国人観光客数の推移（国別）

- 訪日外国人数は回復しつつあるが、そのスピードは国や地域により差がある。

2022年3月～2023年2月訪日外客推移（2019年同月比）



(注) 2020年から拡大した新型コロナウイルスによる影響を除くため、1月以降も繰り返し2019年の数値と比較している。

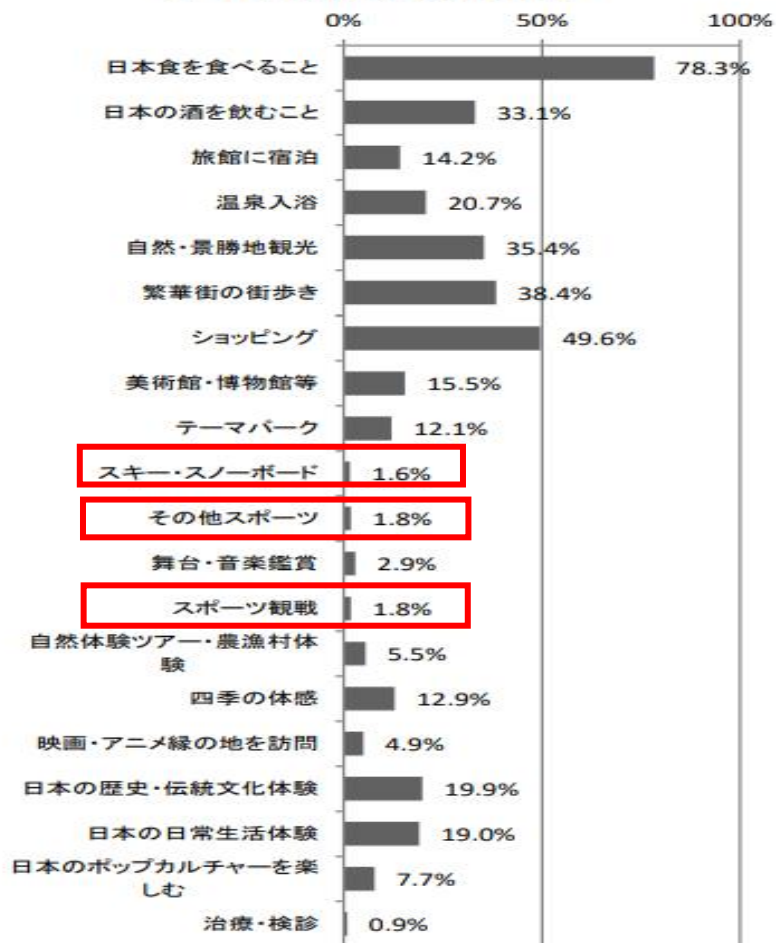
日本政府観光局2023年3月15日報道発表資料より抜粋

https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/pdf/20230315_monthly.pdf

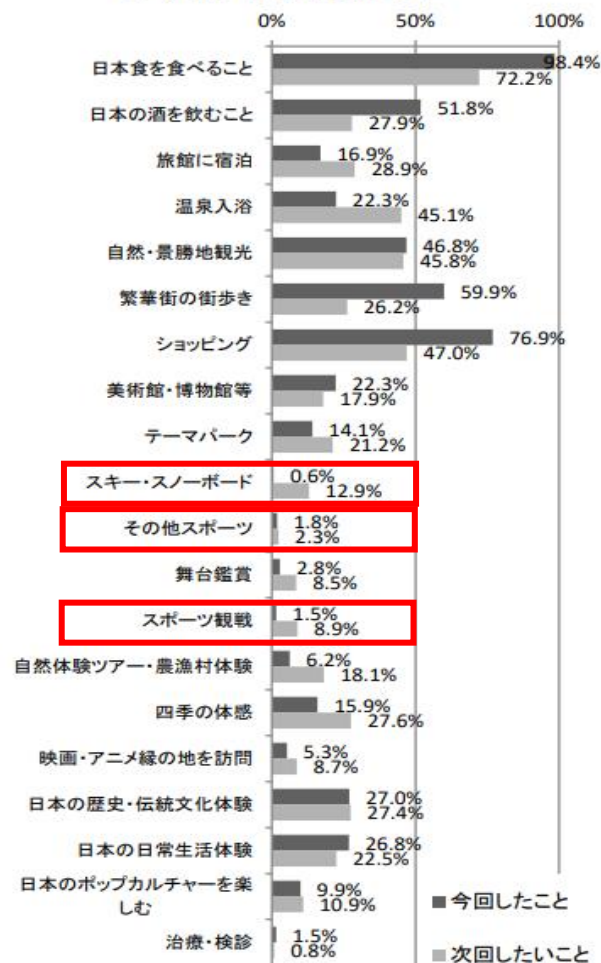
観光産業の現状：訪日外国人観光客の「スポーツ」への期待

- 外国人が訪日観光に期待することのうち、訪日前の調査ではスポーツ関係は上位に入っていない。
- 関心が低く、知られていないのが現状だが、体験した者の満足度は他と同様に高い。

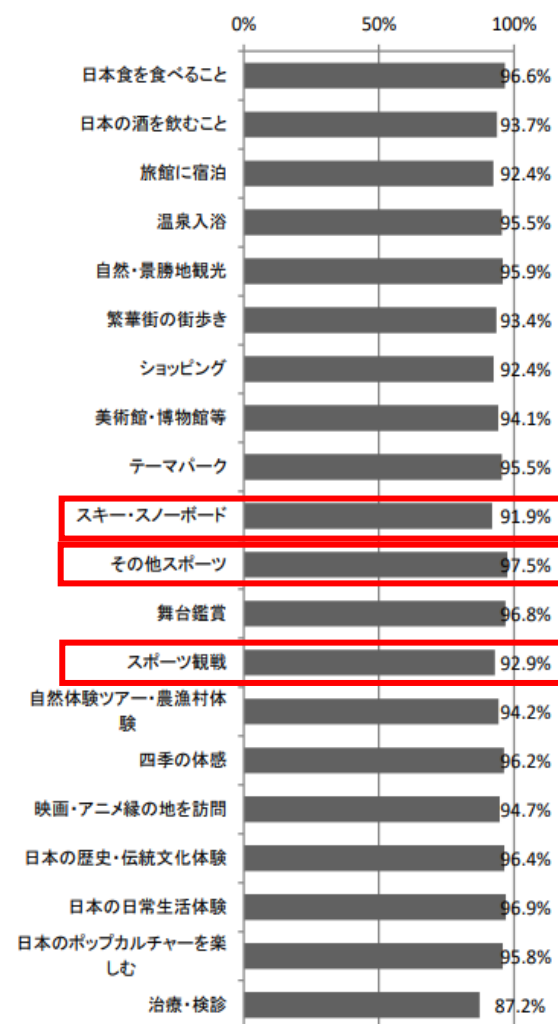
図表 6-1 訪日前に期待していたこと
(全国籍・地域、複数回答)



図表 6-3 今回したことと次回したいこと
(全国籍・地域、複数回答)



図表 6-4 今回した人のうち満足した人の割合
(全国籍・地域、複数回答)



訪日外国人旅行者数の推移（スポーツ目的）

- ・スポーツを目的とした訪日外国人旅行者の割合は、**訪日外国人旅行者数が急増する中で一定の割合を維持**。
- ・**スポーツ目的で訪日**した外国人旅行者の一番の目的は、これまで**スキー・スノーボード**という「する」スポーツであったが、令和元年度には**日本で開催したラグビーワールドカップの影響**で、スポーツ目的で入国した外国人のうち、**スポーツ観戦**を目的とする者が急増した。
- ・コロナの影響により訪日外国人旅行者は減少したものの、**スポーツ観戦を目的とした人は一定の割合を維持**。

図. スポーツを目的とし訪日した外国人旅行者数の割合・推移

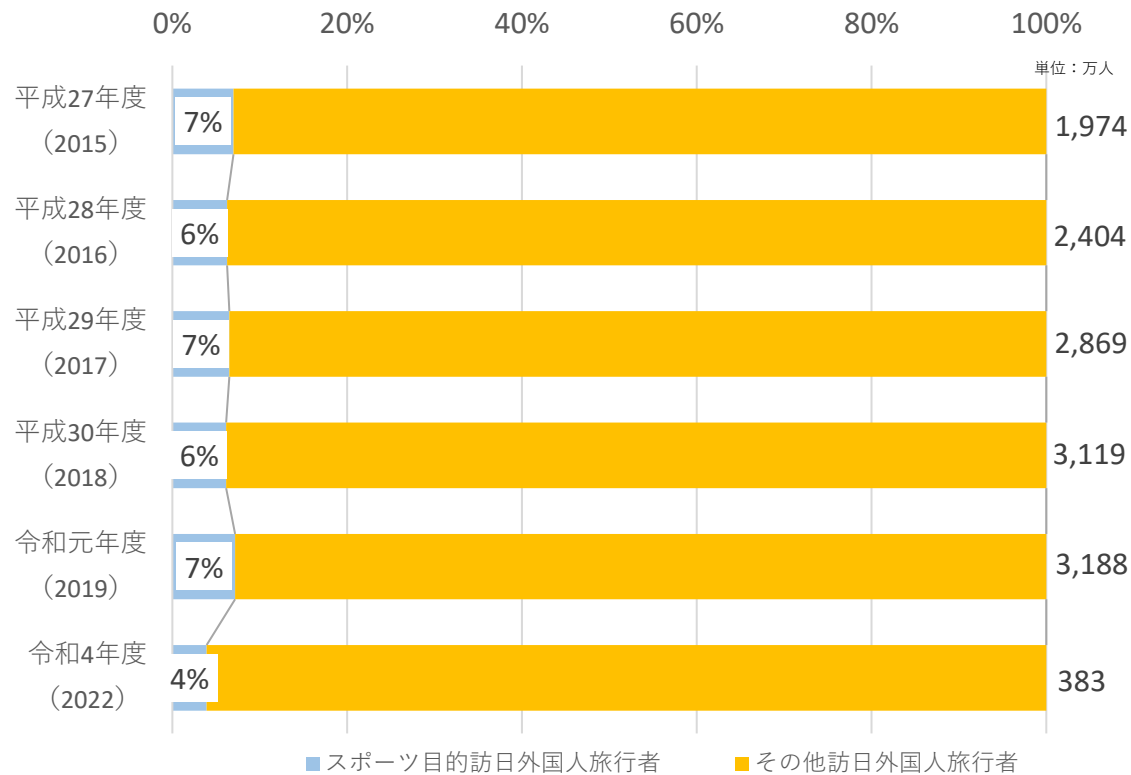
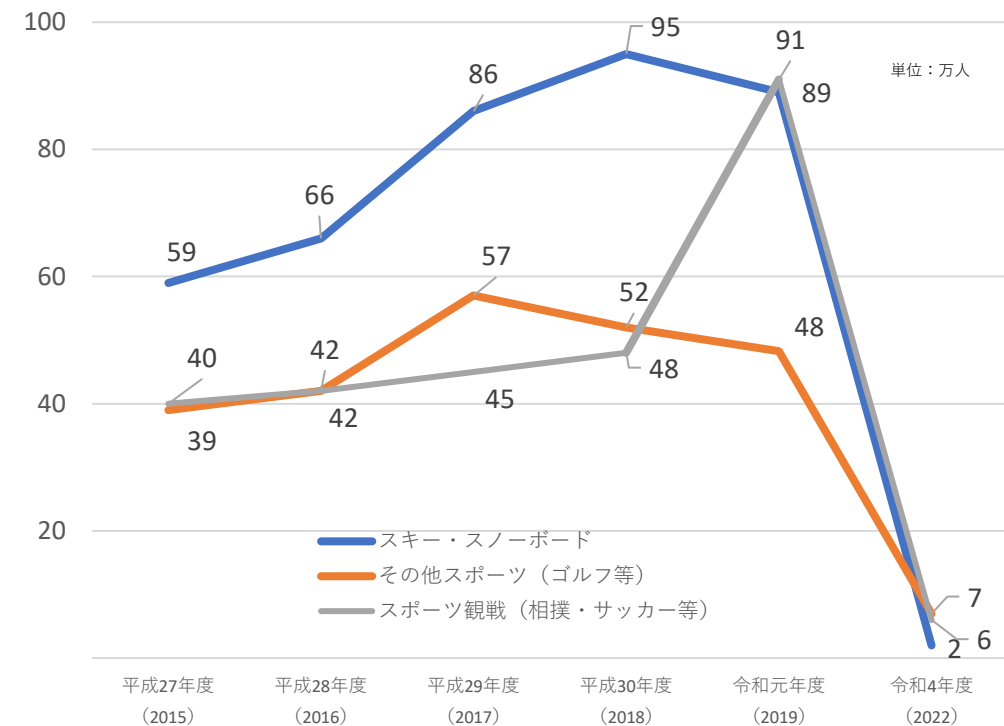


図. 訪日外国人旅行者（スポーツ目的別）の推移

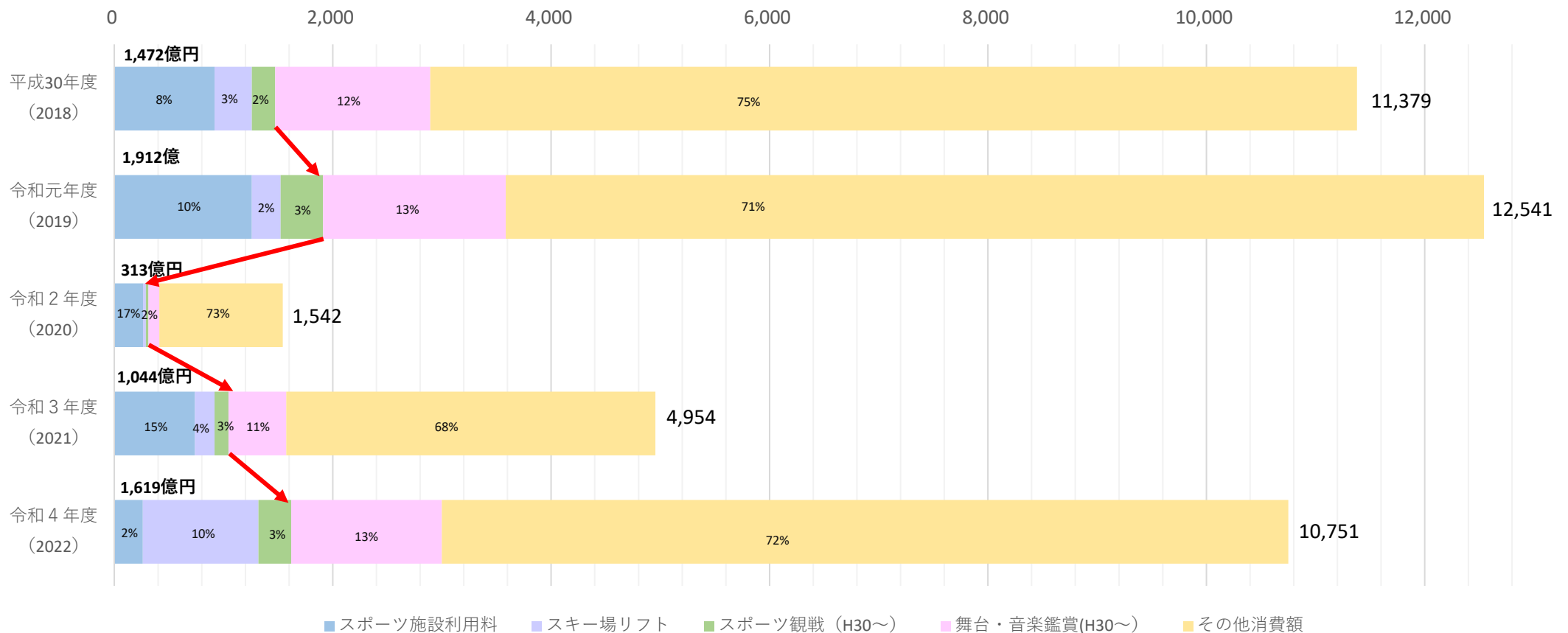


（出典）「訪日外国人消費動向調査（日本政府観光局）」よりスポーツ庁作成（令和2・3年度は調査未実施）

※日本政府観光局公表の訪日外国人旅行者数に、「訪日外国人消費動向調査」（観光庁）における「今回の日本滞在中にしたこと（複数回答）」のうち「スキー・スノーボード」、「その他スポーツ（ゴルフ等）」、「スポーツ観戦（相撲・サッカー等）」の選択率に乗じて算出。

国内旅行消費額のうちスポーツツーリズムに関連する消費額

- ・国内旅行消費額はコロナ禍の影響を大きく受けたが、「スポーツ施設利用料」「スキー場リフト」「スポーツ観戦」からなるスポーツツーリズム関連消費額は、「舞台・音楽鑑賞」に比べるとその落ち込みは小さかった。
- ・令和4年に「スポーツ施設利用料」の割合と「スキー場リフト」の割合が逆転。



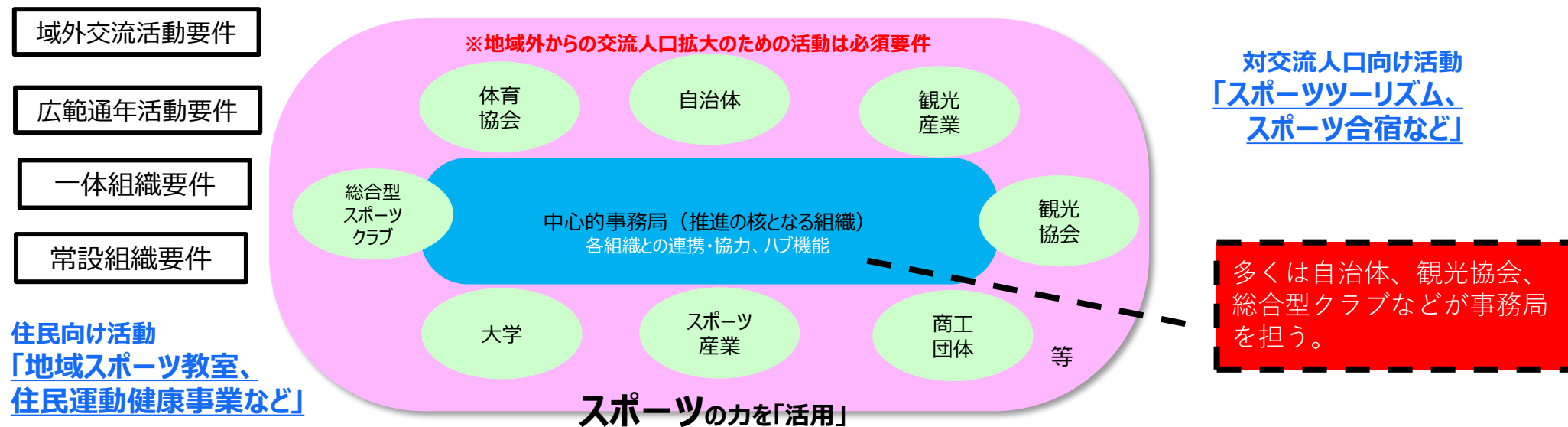
「旅行観光消費動向調査（日本政府観光局）」における旅行消費額のうち、「スポーツ施設」「スキー場リフト代」「スポーツ・観戦・芸術鑑賞」に係る消費額を合計して算出

- 2011年 「スポーツ基本法」の制定（旧スポーツ振興法を全部改正）
「スポーツツーリズム推進基本方針」を策定（観光庁）
→スポーツツーリズムの推進に向けた基本的な方向を示し、
スポーツツーリズム推進連携組織の創設を打ち出す
- 2012年 「スポーツ基本計画」策定（文部科学省）
- 2015年 **スポーツ庁設置**
「スポーツによる地域活性化推進事業」開始（**地域スポーツコミッション活動支援**）
- 2016年 3庁連携協定締結（スポーツ庁・文化庁・観光庁）
- 2017年 「第2期スポーツ基本計画」の策定
目標値を設定
・スポーツ目的の訪日客数（2021年までに250万人）
・スポーツツーリズム関連消費額（2021年までに3,800億円）
・地域スポーツコミッションの設置数（2021年までに170）
- 2018年 「スポーツツーリズム需要拡大戦略」を策定→**アウトドア・武道を新規重点項目に**
- 2019年 武道ツーリズム研究会（「武道ツーリズム推進方針」の策定）
- 2020年 モデル事業による**スポーツツーリズムコンテンツ形成支援**開始
- 2022年 「第3期スポーツ基本計画」の策定
→地域スポーツコミッションの設置数目標を達成。**「質の向上」重視へ移行**

地域を挙げて取り組む枠組み：地域スポーツコミッション

- ・スポーツと景観・環境・文化などの地域資源を掛け合わせ、戦略的に活用することでまちづくりや地域活性化につなげる取組を推進するネットワーク組織。
- ・地方公共団体に加えて、いわゆるスポーツ団体（体協、総合型等）だけでなく、民間企業（観光協会、商工団体、大学、観光産業、スポーツ産業等）などが一体となった組織である点が特徴。
- ・2022年時点で195。現在は「質の向上」を掲げ、持続性確保のため事業の多角化支援に注力。

ネットワーク：「地域スポーツコミッション」（総称）



様々な地域課題（住民の健康、高齢化・少子化、過疎化、経済衰退）

解決

【地域への社会的効果】

- スポーツのまちとしてのアウトブランディング、
- ローカルアイデンティティ・地域一体感の醸成
- 地域スポーツ人口・関心層の拡大
- 季節・年間を通じての誘客による、従事者の雇用安定

【地域への経済効果】

- 合宿参加者・スポーツツーリストの滞在に係る消費（宿泊・飲食・観光・物販など）
- スポーツアクティビティの参加料収入

地域振興

- ・スポーツツーリズムの需要拡大・定着化を目的に策定。
- ・「地域スポーツコミッション」の活動支援を通じて、スポーツイベントの開催やスポーツ合宿の誘致を推進。
- ・さらに「アウトドアスポーツ」と「武道」の見学や体験は、日本の強みが活用でき、国内及び訪日個人旅行者の需要拡大に有望な分野であることから、イベントや合宿に加え、アウトドアスポーツと武道を「新規重点テーマ」としてプロモーションやコンテンツ開発を進めていくこととした。

新規重点 テーマ①

世界に誇る日本の自然資源を活用した アウトドアスポーツツーリズム (するスポーツ)

- ・「スノースポーツ」、「登山・ハイキング・トレッキング」、「ウォーキング」、「サイクリング」をはじめ、国内外問わず実施意向が高い。
- ・最高の環境が地方部にあるため、地方部への誘客に繋がる。
- ・雪質や里山等、日本特有の自然資源・環境には海外からも高い関心が寄せられ一部地域には既に多くの外国人が訪れている。
- ・スポーツ庁では2017年6月に『アウトドアスポーツ推進宣言』を発表。体力や年齢に関わらず、誰もが実施しやすいスポーツジャンルであるため、国内のスポーツ実施率向上にも寄与。



写真提供：長野県観光機構

写真提供：今治市

新規重点 テーマ②

世界の関心が高い日本発祥・特有の 武道ツーリズム (みる・するスポーツ)

- ・「武道（柔道・空手・剣道など）」、「大相撲」は中国をはじめ各国で「みるスポーツ」としての意向が高い。
- ・空手をはじめ、武道は海外でも愛好者が多く、受入体制やコンテンツを整備することで、海外の愛好者・日本文化への関心が高い層に対し、発祥地である日本への関心・訪日意欲を喚起できる。
- ・スポーツ庁では2016年より文化庁、観光庁と連携し、スポーツと日本の文化芸術資源を融合させた「スポーツ文化ツーリズム」を推進。



写真提供：（公財）日本武道館

武道ツーリズム①

九州広域

武士道文化と武道体験（剣道、居合道、弓道等）



（一社）九州観光推進機構等が航空会社や自治体等と連携し、平戸城など九州各地の城跡や武家屋敷での宿泊と、剣道、弓道、居合道等の武士道や茶道や書道等の日本文化を組み合わせ体験するツアーを組成。

武道ツーリズム③

東京都

オンライン武道ツーリズム（合気道、古武道等（デジタル））



デジタル技術を活用し、日本の武道場と海外の武道場が連携したオンライン武道ツーリズム。コロナ禍で来日できない武道愛好家とオンラインで稽古を行い、日本の道場への訪問意欲を高める取組。

武道ツーリズム②

大阪府

体育大学の強みを活かした地域観光コンテンツの形成（剣道、なぎなた）



「大学×競技団体×自治体」で目指す地域文化・観光資源を活かした体験学習型コンテンツ。

大阪体育大学で剣道やなぎなた等の武道を体験するとともに、周辺の温泉旅館や古民家に宿泊、翌日に寺院での座禅体験や、岸和田だんじり会館の見学等、地域の文化資源も組み合わせたツアーを地域を挙げて実施。

アーバンスポーツツーリズム①

埼玉県

アーバンスポーツを知る体験イベント、プロスポーツチームとの連携（スケートボード、3X3、BMX等）



さいたまスポーツコミッションと自治体、プロバスケットボールチーム等の関連団体が連携し、スケートボード、3X3、BMX等のアーバンスポーツの体験イベントと、プロバスケットボール公式戦の観戦や周辺の食文化体験を組み合わせたツアーを実施。

地域資源を活かしたスポーツツーリズムの取組例②

アウトドアスポーツツーリズム①

TOGA 天空トレイルラン（トレイルラン大会）

富山県



地域の自然資源を活用し、トレイルランニングの大会を企画・運営。その中で、特産である岩魚・利賀そばや旬の山菜を使ったメニューを提供し、南砺市利賀村の魅力を活かしたスポーツツーリズムを推進。
第1回大会以降、参加者の幅を広げるため、トレッキングツアーを開催し、一層の地域活性化を図っている。

スノースポーツツーリズム①

スノースポーツとキャンプの融合（キャンプ）

北海道



小規模スキー場に着目し、「スノースポーツ×アウトドア」をフックとした新たなスポーツツーリズムコンテンツ。ゲレンデでスノースポーツを楽しみ、そのままキャンプや地域の食文化に触れる。

アウトドア要素や地域性を取り入れた新たなスノースポーツの楽しみ方。

アウトドアスポーツツーリズム②

しまなみサイクルツーリズム（サイクリング）

愛媛県・広島県



地元自治体やコンテンツ造成事業者等からなる「しまなみサイクルツーリズム検討会議」が、サイクリング×カヌー体験、サイクリング×ダイビング体験等、サイクリングだけでなく海外に響く魅力あるアクティビティを組み合わせたツアー。

スノースポーツツーリズム②

インバウンドファミリー層向けスキー検定とアフタースキー活動のデジタル化

長野県



台湾などのインバウンドファミリー層を対象に、ことも向けスキー資格検定試験等を整備するとともに、滞在中スキー場付近の二次交通やレンタル、物販等を定額利用できる電子パスを開発し、利用情報等をモニタリングして長期滞在リゾート形成に役立つマーケティング情報の基盤を整備。

- ・ **「武道ツーリズム」**は、世界的に関心が高く文化的にも価値がある武道の「見学」、「観戦」、「実技体験」など、**日本でしか体験できない、希少性が高いツーリズム**である。
- ・ 日本最大の人口集積地である東京をハブとしたミニ体験、デジタル技術を活用した新たな取組の2本柱により、**「武道ツーリズム」の存在をより多くの方々に知らしめ、地方への誘客を促進。**

① 東京をハブとした武道ツーリズムの推進

東京をハブとしたミニ体験等を通じ、武道ツーリズムを知る・気軽に体験する・身近に感じる機会を数多く生み出し、地方へと赴ききっかけを積極的に作る。

(取組例①) **東京の都心に地域の取組紹介ブースを設置**
各県のアンテナショップや、特設ブースで演舞、武道のミニ体験、ツーリズムの取組紹介等を実施

*わしたショップ沖縄が入っている東京交通会館を活用したイベントのイメージ →



(取組例②) **空港等を活用した武道ツーリズムシンポジウムの開催**
インバウンドも含め多くの人が行き交う羽田空港等で開催し、偶然居合わせた人にもアプローチ

*空港でのシンポジウムのイメージ →



② デジタル技術を活用した新たな取組の推進

オンライン稽古や仮想空間の活用等、デジタル技術を活用した新たな取組を推進することで、武道をきっかけとした外国人の訪日需要を喚起する。

(取組例①) **オンライン武道ツーリズムの実施**
デジタル技術を活用し、日本と海外の武道場が連携しながら、師範との稽古、昇段試験等をオンラインで実施

*オンライン稽古の様子 (スポーツ庁HPより) →



(取組例②) **仮想空間の活用の促進**
世界中のどこからでもつながる仮想空間上で、武道の魅力発信や武道をきっかけとした交流を促進

*本年3月より空手を活用した仮想空間を公開。
徐々に動ける場所や施設を増やすなど、拡張して →
いく予定とのこと (沖縄県の事例)



武道ツーリズムの取組をより多くの方々に周知し、地方への誘客を促進！

国内における主な観戦機会①：主なスポーツリーグ

・「みる」スポーツによるスポーツツーリズムは今後もっと拡大する可能性。

➤ 主なスポーツリーグ等の日程（白:2024年、赤2023年、黒2022年）

リーグ名	シーズン											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Jリーグ（プロサッカーリーグ）		2/17										12/3
プロ野球			3/30								11/5	
JDリーグ（女子ソフトボールリーグ）				4/15							11/19	
ホッケージャパンリーグ				4/22							11/5	
Xリーグ（アメリカンフットボール）	1/未				5/4							
Fリーグ（フットサル） 日本女子フットサルリーグ		2/5				6/18						
ハンドボールリーグ			3/21				7/2					
アジアリーグアイスホッケー			3/26						9/3			
Tリーグ（卓球リーグ）			3/26						9/10			
Bリーグ（プロバスケットボールリーグ）					5/30				9/29			
Wリーグ（女子バスケットボールリーグ）				4/17						10/19		
Vリーグ（バレーボールリーグ）				4/23						10/22		
WEリーグ（女子プロサッカーリーグ）						6/10				10/22		
ジャパンラグビーリーグワン					5/20							12/17

国内における主な観戦機会①：主なスポーツリーグ

リーグ	所属チーム数	年間試合数	主な開催場所 ※チームが所属するホームタウン
Jリーグ	60	1100試合以上	41都道府県
プロ野球	12	850試合以上	北海道、宮城、埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、広島、福岡（11都道府県）
JDリーグ	16	230試合以上	栃木、群馬、埼玉、神奈川、岐阜、静岡、愛知、滋賀、京都、兵庫、愛媛、福岡（12都府県）
ホッケージャパンリーグ	26	130試合以上	栃木、東京、富山、福井、山梨、岐阜、滋賀、大阪、奈良、島根、広島（11都府県）
Xリーグ	20	70試合以上	千葉、東京、神奈川、新潟、愛知、大阪、兵庫、福岡（8都府県）
Fリーグ 日本女子フットサルリーグ	32	260試合以上	20都道府県
ハンドボールリーグ	23	240試合以上	宮城、埼玉、東京、富山、石川、福井、岐阜、愛知、三重、大阪、岡山、福岡、沖縄（13都府県）
アジアリーグアイスホッケー	7 ※日本5,韓国1,ロシア1	120試合以上	北海道、青森、栃木、神奈川（4道県）
Tリーグ	12	100試合以上	埼玉、東京、神奈川、石川、静岡、愛知、京都、大阪、岡山、福岡（10都府県）
Bリーグ	54	1500試合以上	39都道府県
Wリーグ	14	190試合以上	秋田、茨城、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、静岡、愛知、兵庫（10都県）
Vリーグ	53	750試合以上	26都道府県
WEリーグ	11	110試合以上	宮城、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、長野、兵庫、広島（9都県）
ジャパンラグビーリーグワン	23	150試合以上	岩手、埼玉、千葉、東京、神奈川、静岡、愛知、三重、大阪、兵庫、広島、福岡（12都府県）

主な観戦機会②：大相撲

- 「みる」スポーツによるスポーツツーリズムは今後もっと拡大する可能性。

2023年	大会名	場所
1/8-1/22	一月場所	東京
3/12-3/26	三月場所	大阪
4/2-4/30	春巡業	三重ほか
5/14-5/28	五月場所	東京
7/9-7/23	七月場所	愛知
8/1-8/31	夏巡業※	—
9/10-9/24	九月場所	東京
10/1-10/30	秋巡業※	—
11/12-11/26	十一月場所	福岡
12/1-12/31	冬巡業※	—

※開催スケジュール未定



春巡業	会場	場所
4/2 (日)	伊勢神宮	三重
4/3	箕面市立第一総合運動場 (スカイアリーナ)	大阪
4/4	岡崎中央総合体育館	愛知
4/5	豊田合成記念体育館 ENTRIO	愛知
4/6	福井県営体育館	福井
4/8 (土)	謙信公武道館 (新潟県立武道館)	新潟
4/9 (日)	エムウェーブ (長野市オリンピック記念アリーナ)	長野
4/15 (土)	秋葉台文化体育館	神奈川
4/16 (日)	町田市立総合体育館	東京
4/17	靖国神社相撲場	東京
4/22 (土)	横浜アリーナ	神奈川
4/23 (日)	浜川体育館	群馬
4/28	重兵衛スポーツフィールド中台体育館	千葉
4/29 (土)	川崎市とどろきアリーナ	神奈川
4/30 (日)	かみす防災アリーナ	茨城

国内における主な観戦機会③：ボクシング・プロレス・格闘技

- 「みる」スポーツによるスポーツツーリズムは今後もっと拡大する可能性。

➤ ボクシング・プロレス・格闘技（後楽園ホールの例）

4月	競技	
1日(土)	ボクシング	プロボクシング（帝拳ジム）
2日(日)	プロレス	スターダム
	プロレス	新日本プロレス
3日(月)	プロレス	新日本プロレス
4日(火)	－	－
5日(水)	プロレス	ドラゴンゲート
6日(木)	－	－
7日(金)	ボクシング	プロボクシング（戸高ジム）
8日(土)	プロレス	全日本プロレス
9日(日)	プロレス	DDTプロレス
	格闘技	Bigbang
10日(月)	－	－
11日(火)	－	－
12日(水)	プロレス	GLEAT
13日(木)	プロレス	大日本プロレス
14日(金)	プロレス	スターダム
15日(土)	プロレス	東京女子プロレス
	格闘技	NKB日本キックボクシング

16日(日)	プロレス	PURE-J女子プロレス
	格闘技	ニュージャパンキックボクシング
17日(月)	－	－
18日(火)	ボクシング	プロボクシング（三迫ジム）
19日(水)	－	－
20日(木)	－	－
21日(金)	格闘技	RISE
22日(土)	格闘技	KNOCK OUT
23日(日)	プロレス	OZアカデミー
	格闘技	新日本キックボクシング
24日(月)	プロレス	プロミネンス
25日(火)	プロレス	全日本プロレス
26日(水)	ボクシング	プロボクシング（DANGAN AOKIジム）
27日(木)	ボクシング	プロボクシング（川崎新田ジム）
28日(金)	格闘技	Krush
29日(土・祝)	プロレス	ワールド女子プロレス・ディアナ
	プロレス	プロレスリング・ノア
30日(日)	プロレス	SEAdLINNNG
	格闘技	シュートボクシング

国内における主な観戦機会④：モータースポーツ（四輪）

- 「みる」スポーツによるスポーツツーリズムは今後もっと拡大する可能性。

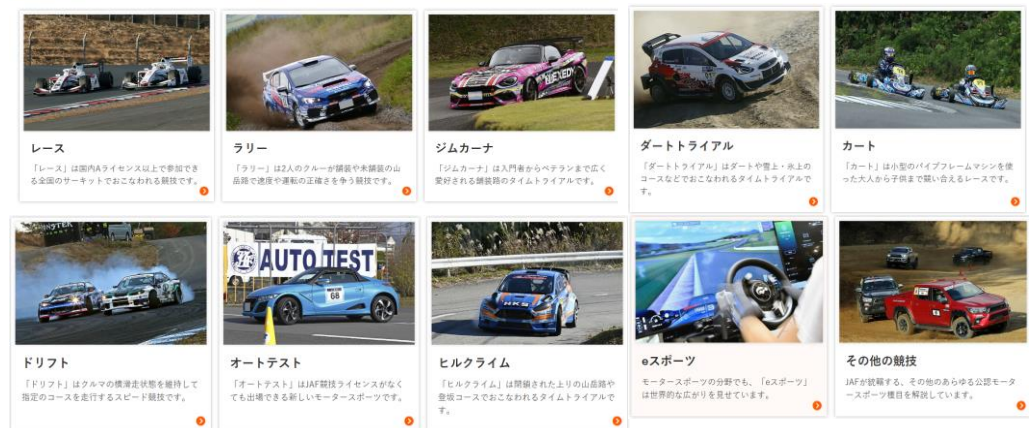
➤ モータースポーツ（主な国際大会）

2023年	大会名	場所
2/3-5	2023 FIA Asia Pacific Rally Championship 2023 FIA APRC Asia Cup Rally of Tsumagoi 2023	群馬県
4/7-9	2023 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権	富士スピードウェイ
4/14-16	2023 SUPER GT Round1	岡山国際サーキット
4/21-23	2023 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権	鈴鹿サーキット
5/2-4	2023 SUPER GT Round2	富士スピードウェイ
5/19-21	2023 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権	オートポリス
6/2-4	2023 SUPER GT Round.3	鈴鹿サーキット
6/16-18	2023 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権	スポンサーランド SUGO
6/23-25	ザ・ワンメイクレース祭り 2023 富士	富士スピードウェイ
7/14-16	2023 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権	富士スピードウェイ
8/4-6	2023 SUPER GT Round4	富士スピードウェイ
8/18-20	2023 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権	モビリティリゾート もてぎ
8/25-27	2023 SUPER GT Round.5	鈴鹿サーキット
9/8-10	2023 FIA International Rally RALLY HOKKAIDO	北海道
	2023 FIA World Endurance Championship 6 Hours of FUJI	富士スピードウェイ

9/15-17	2023 SUPER GT Round6	スポンサーランド SUGO
9/21-24	2023 FIA FORMULA 1 世界選手権シリーズ 日本グランプリレース	鈴鹿サーキット
10/13-15	2023 SUPER GT Round7	オートポリス
10/27-29	第 22 回 JAF 鈴鹿グランプリ 2023 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権	鈴鹿サーキット
11/3-5	2023 SUPER GT SERIES Round.8	モビリティリゾート もてぎ
11/16-19	2023 FIA WORLD RALLY CHAMPIONSHIP Rally Japan 2023	愛知・岐阜

富士スピードウェイ(静岡県) 岡山国際サーキット(岡山県) 鈴鹿サーキット(三重県)
オートポリス(大分県) スポンサーランドSUGO(宮城県) モビリティリゾート もてぎ(栃木県)

モータースポーツの各競技種目を知る・楽しむ



JAF モータースポーツサイト
<https://motorsports.jaf.or.jp/enjoy/begin>

国内における主な観戦機会④：モーターサイクスポーツ（二輪）

- 「みる」スポーツによるスポーツツーリズムは今後もっと拡大する可能性。

➤ モータースポーツ（主なロードレース）

2023年	大会名	場所
4/1-2	2023 MFJ全日本ロードレース選手権第1戦	モトギラティリポート もてぎ
4/22-23	2023 MFJ全日本ロードレース選手権第2戦	鈴鹿サーキット
5/20-21	2023 MFJ全日本ロードレース選手権第3戦	スポーツランド SUGO
6/18	2023 MFJ全日本ロードレース選手権第4戦	筑波サーキット
6/23-25	FIMアジアロードレース選手権シリーズ第3戦 日本ラウンド	スポーツランド SUGO
8/3-6	FIM 世界耐久選手権 “コカ・コーラ” 鈴鹿 8時間耐久ロードレース第44回大会	鈴鹿サーキット
8/19-20	2023 MFJ全日本ロードレース選手権第5戦	モトギラティリポート もてぎ
9/2-3	2023 MFJ全日本ロードレース選手権第6戦	オートポリス
9/23-24	2023 MFJ全日本ロードレース選手権第7戦	岡山国際サーキット
9/29-10/1	FIM MotoGP™ 世界選手権シリーズ 第15戦 日本グランプリ	モトギラティリポート もてぎ
10/14-15	2023 MFJ全日本ロードレース選手権第8戦	鈴鹿サーキット

モトギラティリポート もてぎ(栃木県) 鈴鹿サーキット(三重県) スポーツランドSUGO(宮城県)
筑波サーキット(茨城県) オートポリス(大分県) 岡山国際サーキット(岡山県)

HSR九州(熊本県) オフロードヴィレッジ(埼玉県) 世羅グリーンパーク弘楽園(広島県)
新千歳モーターランド(北海道) 名阪スポーツランド(奈良県)

（主なモトクロスレース）

2023年	大会名	場所
4/8-9	D.I.D全日本モトクロス選手権シリーズ2023第1戦	HSR九州
5/13-14	D.I.D全日本モトクロス選手権シリーズ2023第2戦	オフロードヴィレッジ
6/3-4	D.I.D全日本モトクロス選手権シリーズ2023第3戦	スポーツランド SUGO
6/24-25	D.I.D全日本モトクロス選手権シリーズ2023第4戦	世羅グリーンパーク 弘楽園
7/30	D.I.D全日本モトクロス選手権シリーズ2023第5戦	新千歳モーターランド
8/6	MFJモトクロス全国大会	スポーツランド SUGO
9/9-10	D.I.D全日本モトクロス選手権シリーズ2023第6戦	名阪スポーツランド
10/8	D.I.D全日本モトクロス選手権シリーズ2023第7戦	HSR九州
10/28-29	D.I.D全日本モトクロス選手権シリーズ2023第8戦	オフロードヴィレッジ
11/11-12	D.I.D全日本モトクロス選手権シリーズ2023第9戦	スポーツランド SUGO



全日本ロードレース選手権専用サイト
<https://www.jrr.jp/>



全日本モトクロス選手権専用サイト
<https://www.mspro.jp/jmx/>



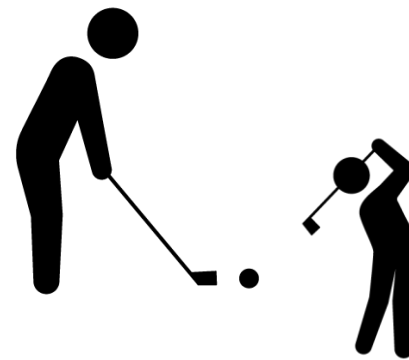
<https://mspro.jp/jmx/didjmx2023r1>

国内における主な観戦機会⑤：プロゴルフ（男子）

- 「みる」スポーツによるスポーツツーリズムは今後もっと拡大する可能性。

➤ 男子プロゴルフの主な大会

2023年					
3/30-4/2	東建ホームメイトカップ	三重	9/28-10/1	バンテリンドネンクラシック	愛知
4/13-4/16	関西オープンゴルフ選手権競技	大阪	10/5-10/8	ACNチャンピオンシップゴルフトーナメント	兵庫
4/20-4/23	ISPS HANDA 欧州・日本どっちが勝つかトーナメント！	茨城	10/12-10/15	日本オープンゴルフ選手権競技	大阪
4/27-4/30	中日クラウンズ	愛知	10/19-10/22	ZOZO CHAMPIONSHIP	千葉
5/18-5/21	ゴルフパートナー PRO-AM トーナメント	茨城	11/2-11/5	マイナビABCチャンピオンシップゴルフトーナメント	兵庫
5/25-5/28	～全英への道～ミズノオープン	岡山	11/9-11/12	三井住友VISA太平洋マスターズ	静岡
6/1-6/4	BMW日本ゴルフツアー選手権 森ビルカップ	茨城	11/16-11/19	ダンロップフェニックストーナメント	宮崎
6/8-6/11	ASO飯塚チャレンジゴルフトーナメント	福岡	11/23-11/26	カシオワールドオープン	高知
6/15-6/18	ハナ銀行インビテーション	千葉	11/30-12/3	ゴルフ日本シリーズJTカップ	東京
6/22-6/25	JAPAN PLAYERS CHAMPIONSHIP by サトウ食品	栃木			
6/29-7/2	長嶋茂雄 INVITATIONAL セガサミーカップゴルフトーナメント	北海道			
7/27-7/30	日本プロゴルフ選手権大会	北海道			
8/3-8/6	横浜ミナト Championship ～Fujiki Centennial～	神奈川			
8/24-8/27	Sansan KBCオーガスタ	福岡			
8/31-9/3	フジサンケイクラシック	山梨			
9/14-9/17	ANAオープンゴルフトーナメント	北海道			
9/21-9/24	パナソニックオープンゴルフチャンピオンシップ	兵庫			

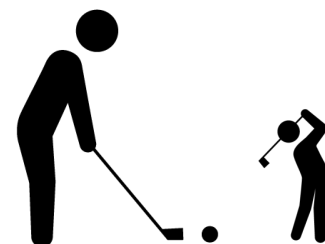


国内における主な観戦機会⑤：プロゴルフ（女子）

- 「みる」スポーツによるスポーツツーリズムは今後もっと拡大する可能性。

➤ 女子プロゴルフの主な大会

2023年					
4/7-4/9	富士フィルムスタジオアリス女子オープン	兵庫	8/24-8/27	ニトリレディスゴルフトーナメント	北海道
4/14-16	KKT杯バンテリンレディスオープン	熊本	9/1-9/3	ゴルフ5レディスプロゴルフトーナメント	北海道
4/21-4/23	41st フジサンケイレディスクラシック	静岡	9/7-9/10	日本女子プロゴルフ選手権大会コニカミルタ杯	長崎
4/28-4/30	パナソニックオープンレディースゴルフトーナメント	千葉	9/15-9/17	第54回住友生命Vitalityレディス 東海クラシック	愛知
5/4-5/7	ワールドレディスチャンピオンシップ サロンパスカップ	茨城	9/22-9/24	第50回ミヤギテレビ杯ダンロップ女子オープンゴルフトーナメント	宮城
5/12-5/14	RKB×三井松島レディス	福岡	9/28-10/1	日本女子オープンゴルフ選手権	福井
5/18-5/21	ブリヂストンレディスオープン	愛知	10/6-10/8	スタンレーレディスホンダゴルフトーナメント	静岡
5/25-5/28	リゾートトラスト レディス	静岡	10/13-10/15	富士通レディース 2023	千葉
6/2-6/4	リシャル・ミル ヨネックスレディスゴルフトーナメント 2023 in 朝霧	静岡	10/19-10/22	NOBUTA GROUP マスターズGC レディース	兵庫
6/8-6/11	宮里藍 サントリーレディスオープンゴルフトーナメント	兵庫	10/27-10/29	樋口久子 三菱電機レディスゴルフトーナメント	埼玉
6/16-6/18	ニチレイレディス	千葉	11/2-11/5	TOTO ジャパンクラシック	茨城
6/21-6/23	JLPGAレジェンズチャンピオンシップ	静岡	11/10-11/12	第39回伊藤園レディスゴルフトーナメント	千葉
6/22-6/25	アース・モンダミンカップ	千葉	11/16-11/19	第42回大王製紙エリエールレディスオープン	愛媛
6/29-7/2	資生堂 レディスオープン	神奈川	11/23-11/26	JLPGAツアーチャンピオンシッププリコカップ	宮崎
7/6-7/9	ミネベアミツミ レディス 北海道新聞カップ	北海道			
7/20-7/23	大東建託・いい部屋ネットレディス	福岡			
7/27-7/30	楽天スーパーレディース	兵庫			
8/4-8/6	北海道 me i j i カップ	北海道			
8/11-8/13	NEC軽井沢72ゴルフトーナメント	長野			
8/18-8/20	CAT Ladies2023	神奈川			



スポーツ団体の取組例（海外との関係強化①）

- プロスポーツの一部競技では、アジア域のスター選手を獲得し、同選手の活躍を中心にアジア市場への発信を強化する等の取組がみられる。
- 今後、訪日外国人観光客の呼び込みにつながる可能性。

【Jリーグ：ベトナム人選手、タイ人選手の例】

- ✓ **グエン コンフォン選手**（水戸ホーリーホック2016年→現・横浜FC）
・当時SNSのフォロワーが150万人以上。茨城空港にベトナムからのチャーター便が飛ぶようになり、ツアー客が試合後に県内を観光するインバウンドにつながった。
- ✓ **チャナティップ選手**（コンサドーレ札幌2017年→現・川崎フロンターレ）
・コンサドーレ加入後に練習風景をJリーグの公式フェイスブックで配信したところ、札幌市の人口197万人を上回る332万人にリーチ。タイの複数の放送局が放映を開始し、1試合あたり30万～40万人の視聴者を獲得。

❖ 東アジアから水戸への観光客の増加という効果を創出



❖ チャナティップ選手の肖像を活用したtoCマーケティング



引用： <https://jspin.mext.go.jp/wp-content/uploads/2022/10/consadole-sapporo.pdf>

引用： https://sportiva.shueisha.co.jp/clm/football/jleague_other/2020/06/14/___split_68/index_4.php

【Bリーグ：フィリピン人選手の例】

- ✓ **サーディ・ラベナ選手**（三遠ネオフェニックス：2020年～）
キーファー・ラベナ選手（滋賀レイクスターズ：2021年～） など
- ・リーグが放映権をフィリピンの現地メディアに販売。昨シーズンは開幕戦を含む51試合を同局がフィリピン国内で地上波、有料ケーブル、インターネットで独占配信。
- ・滋賀レイクスターズは在日フィリピン人を無料招待する試合を開催。



❖ 2階指定席を無料提供

引用： <https://www.lakestars.net/news/detail?id=17853>

【参考】Twitterのフォロワー数

キーファー・ラベナ選手……約76万人
富樫勇樹 選手……………約17万人
八村塁 選手……………約24万人

（4月17日時点）

スポーツ団体の取組例（海外との関係強化②）

- 海外ファン向けに、公式HPを多言語化する動きも。

【多言語対応の例】

➤ Jリーグ：セレッソ大阪 英語、インドネシア語、タイ語

公式Facebook 英語、インドネシア語、タイ語版開設のお知らせ

チーム

セレッソ大阪では明日6月23日（月）より、公式Facebook英語、インドネシア語、タイ語版を開設いたします。今後は、日本語版の公式Facebookに加え、これらのアカウントも利用することにより、セレッソ大阪に関する情報をより効果的に海外に発信していきます。なお、当面は、日本語版の内容を中心に情報発信する予定です。

《セレッソ大阪 公式Facebook》

- ◆ENGLISH
Facebook : <https://www.facebook.com/officialcerezoosakaenglish>
- ◆INDONESIAN
Facebook : <https://www.facebook.com/officialcerezoosakaindonesia>
- ◆THAI
Facebook : <https://www.facebook.com/officialcerezoosakathailand>
- ◆日本語
Facebook : <https://www.facebook.com/OfficialCerezoOsaka>

facebook ログイン

CEREZO OSAKA

Perlahan tapi pasti

#CerezoOsaka duduk di peringkat ketujuh dan hanya berjarak lima poin dari peringkat pertama #JLEAGUE 2023

Gaspol

STANDINGS 2022 MEIJI YASUDA J1 LEAGUE

POS	TEAM	P	GD	PTS
1	Vissel Kobe	9	+13	19
2	Nagoya Grampus	9	+7	18
3	Yokohama F. Marinos	9	+7	17
4	Urawa Reds	9	+5	17
5	Sanfrece Hiroshima	9	+5	17
6	Avispa Fukuoka	9	+2	15
7	Cerezo Osaka	9	+1	14
8	FC Tokyo	9	+1	12
9	Kyoto Sanga FC	9	0	12

引用元: <https://www.cerezo.jp/news/2015-08-07/>

➤ パリーグ：福岡ソフトバンク 英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語

SoftBank HAWKS

試合情報 チーム情報 ファーム チケット イベント ファンクラブ クッズ グルメ

LANGUAGE English 簡体中文 繁体中文 한국어

試合中止のお知らせ

4月25日(火)に北九州にて予定されていた 楽天イーグルス戦は中止になりました。

中継も独占映像も！
充実の1~4軍情報！

ホークスTV

U30 初めて U30 初めまして U30 初めまして U30 初めまして

HOT TOPICS

鷹の祭典2023情報

ホークス ダブルアニバーサリー

ファイト！九州2023

観戦ルール2023

引用元: <https://www.softbankhawks.co.jp/>

企業の取組例（観戦サービスの多様化・高付加価値化）

- 観戦券に飲食やギフト、専用スペース、エンターテインメント等を併せて提供する取組が今後増える兆し。
- ホスピタリティサービスをはじめとしたサービスの多様化が、スポーツの観戦価値を高めるとともに国内外の観光客呼び込みの起爆剤になる可能性。

- JTBは英STHグループと国内に合併会社を立ち上げ、2019年に日本で開催されたRWCでホスピタリティサービスを提供。
- 本年、東京で開催されたWBCでも公式ホスピタリティパッケージを提供。



OFFICIAL



ゴールドカテゴリーのチケット 一般には発売されていない、特別な高付加価値カテゴリーのチケットが含まれます	絶好のロケーション スタジアムから徒歩圏内のホスピタリティラウンジにて、試合前後にサービスを楽しむことができます	飲料 厳選されたアルコール飲料（ワイン、ビール）とノンアルコール飲料が提供されます
最高の料理 フランスの名会場の地産地消を活かしたお食事を試合前と試合後の2回、ピュッフェ形式で提供されます	特別な機会 ラグビー専門家との試合前後にラウンジで交流ができます	その他 ラグビーワールドカップ2023の体験の記念品が含まれます。駐車場も空き状況により使用可能です

引用元：<https://www.jtb.co.jp/sports/rwc2023/hospitality/>

- ぴあ(株)は、スポーツなどのホスピタリティサービスの提供に向けて、スイスのDAIMANI社と業務・資本提携を契約

2022 年 12 月 15 日
ぴあ株式会社

ホスピタリティ事業を運営する DAIMANI 社への出資 及び業務提携に関するお知らせ

ぴあ株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:矢内康、以下「ぴあ」)は、2022 年 12 月 15 日開催の取締役会において、スポーツ、音楽、イベント等の VIP 向けホスピタリティ事業を展開する DAIMANI Holding AG(本社:スイス・チューリッヒ CEO マックス・ミュラー、以下「DAIMANI」)との業務・資本提携に関する契約を締結することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

◆集客エンタテインメント業界における「ホスピタリティ事業」とは

スポーツ、コンサート、イベントなどの開催に際し、観戦・鑑賞のための VIP ルーム等のトップカテゴリーのチケットに、クオリティの高い飲食やギフト、サービスの提供を組み合わせた商品の企画・販売・運営を行う事業です。欧米ではすでに広く普及しているこの特別な体験を提供する観戦スタイルは、日本でも、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会や、東京 2020 オリンピックなどにおいて実施され、富裕層のエンタメファンや取引先の接待等に使用する法人利用が増えており、今後の市場拡大が見込まれています。

引用元：https://corporate.pia.jp/news/files/pia_hospitality_daimani_20221215.pdf

主なスポーツ関連施設①（見る）

「野球殿堂博物館」

所在地：東京都文京区後楽1丁目3-61
アクセス：JR中央線「水道橋駅」徒歩5分
開館時間：月曜を除く10:00-17:00
入館料：大人600円、小中学生200円 他

・1959年に日本初の野球専門博物館として後楽園球場に隣接する場所に開館。1988年に東京ドームの建設に伴いドーム内に移転し、現在に至る。

・日本野球界全体で運営する野球専門博物館。

・プロ・アマを問わず野球の歴史と現在をわかりやすく紹介。

・館内には、資料を約4万点収蔵するほか、野球の発展に貢献した方々の功績を永久に讃える「野球殿堂」や5万冊の図書・雑誌を所蔵する図書室を設置。



「講道館」

所在地：東京都文京区春日1-16-30
アクセス：都営三田線「春日駅」徒歩1分
開館時間：大道場 平日16:00-20:00
資料館・図書館 // 10:00-17:00
入館料：無料

・講道館柔道の祖 嘉納治五郎が明治15（1882）年に下谷区北稲荷町に道場を開いたのが始まり。

・420畳の大道場をはじめ国際部道場女子部道場など計1200畳の道場を有する。毎日、国内外から多くの修行者が稽古に訪れており、見学席からはいつでも稽古や試合を見学できる。

・併設の講道館柔道資料館では、講道館草創期の貴重な資料や写真を展示。

・また図書館にて武道関係図書や柔道の映像などを閲覧できる。



「相撲博物館」

所在地：東京都墨田区横綱1-3-28 国技館1階
アクセス：JR総武線「両国駅」徒歩1分
開館時間：平日12:30-16:00
入館料：無料
※東京本場所中は毎日開館しているが、大相撲の観覧券が必要。

・初代館長の酒井忠正が収集した資料を基礎に、1952年に蔵前国技館の完成と同時に開館。1985年に両国国技館の会館に伴い移転し、現在に至る。

・錦絵や番付、化粧廻しなど、相撲に関する資料を収集保存し、展示により公開している。

・常設展示ではなく、年6回の企画展示により、様々な資料を見ることができる。



主なスポーツ関連施設②（見る）

「国立競技場」

所在地：東京都新宿区霞ヶ丘町10-1
アクセス：JR総武線「千駄ヶ谷駅」徒歩5分 他
利用時間：都度（別途指定された日）
料金：スタジアムツアー

大人1,800円、高校生以下1,000円
VIPエリア&展望デッキツアー
大人3,000円、高校生以下1,500円

【国立競技場スタジアムツアー】

選手ロッカールームや競技トラックなど、通常は見ることのできないエリアをオリンピック・パラリンピックの記憶と共に紹介しながら巡るスタジアムツアー。

【VIPエリア&展望デッキツアー】

通常の国立競技場スタジアムツアーでは見ることのできないVIPラウンジやVIP客席エリアを巡る、来場者特典（オリジナルエコバッグ）付きの特別なツアー。

ツアーの最後には4階展望エリアから、国立競技場を見下ろすことができる。



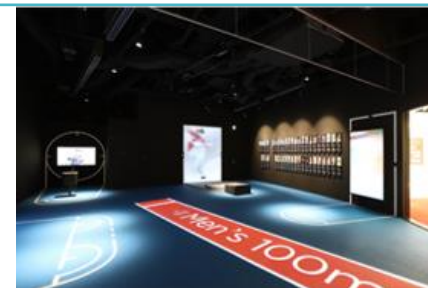
写真提供：独立行政法人日本スポーツ振興センター

「日本オリンピックミュージアム」

所在地：東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 1・2F
アクセス：メトロ銀座線「外苑前駅」徒歩5分 他
開館時間：10:00-17:00
利用料金：一般500円、高校生以下無料 他

・2019年9月に日本オリンピック委員会（JOC）が設置した博物館。

・オリンピックの歴史や意義を学ぶ展示や映像に加え、走る、跳ぶなど、自身の動きをオリンピアンと重ね合わせて凄さを体験するコンテンツなど、さまざまな体験を通して、オリンピックとは何かを考えることができる施設。



「長野オリンピックミュージアム」

所在地：長野県長野市北長池195
アクセス：長野駅からバス「エムウェーブ前」下車 他
開館時間：10:00-17:00（臨時休館日あり）
入場料金：無料

・1998長野オリンピック、パラリンピックの感動が鮮やかに甦る施設。

・競技で使用された用具の実物を展示しているほか、シアタールームでは、長野オリンピックのダイジェスト、3Dシアターが上映されている。



「札幌オリンピックミュージアム」

所在地：北海道札幌市中央区宮の森1274番地
アクセス：地下鉄東西線円山駅からバス
「大倉山競技場入口」下車 徒歩約10分 他
開館時間：5-10月/9:00-18:00
11-4月/9:30-17:00
入場料金：大人600円、中学生以下無料 他

・オリンピックやパラリンピックの歴史と理念を伝え、ウィンタースポーツの普及と発展を目的に開設されたミュージアム。

・選手たちの偉業を紹介する展示、冬季オリンピック札幌大会のレガシーを今に伝える展示の他、選手の視点でオリンピック採用競技を体感できる6種類のシミュレーターを通じてアスリートたちの世界を楽しく知り、学ぶことができる。



主なスポーツ関連施設 ③（する）

- 新しい体験型のスポーツ施設の整備の動きもある。

「渋谷区立宮下公園 スポーツ施設」

都会のど真ん中で、スケートボードや、
ビーチバレーなどが楽しめる！

所在地：東京都渋谷区渋谷1丁目26番5
アクセス：JR山手線「渋谷駅」徒歩約3分 他
利用時間：スポーツ施設 9:00-22:00
利用料金：※区外利用者の例
スケート場、ボルダリングウォール
(2時間) 一般：1,000円、小中学生：480円
多目的運動施設（サンドコート）
(1時間) 12-18時：17,000円 など

【スケート場】

スケートボードとインラインスケートが可能。定番セクションだけでなく、
様々な形状（スネーク・ボウル・ランプ）を楽しめる。
ヘルメット貸し出し無料。プロテクターのレンタル（500円）あり。

【ボルダリングウォール】

高さ5m。初心者から上級者までが楽しめる。
初めての人でも、わからないことがあれば、スタッフがアドバイス。
クライミングシューズ（大人用・子ども用 各300円）とチョークバック
（100円）のレンタルあり。

【多目的運動施設（サンドコート）】

ビーチバレー、ビーチサッカー等のサンドスポーツ全般で利用できる。
事前予約が必要（1回あたり1時間から1ヶ月で10時間まで）



「ムラサキパークかさま」

初心者から上級者までだれでも楽しめる
国内最大級のスケートパーク

所在地：茨城県笠間市笠間2345
アクセス：JR常磐線「友部駅」から
観光周遊バス 約10分 他
利用時間：12:00-21:00（平日）
10:30-20:00（土日祝：土は21時）
利用料金：※土日祝の一日料金の例
一般1,100円、高校生以下850円

・茨城県営都市公園「笠間芸術の森公園」内にムラサキスポーツが整備
した日本最大級のオールコンクリートのスケートパーク。

・「超初心者体験会」をはじめ、「課題克服スクール」や「大人限定スクール」
などの有料スクールも開催。

・スケートボード（770円）BMX（2h：1,100円）
ストライダー（550円）ヘルメット（330円）パット（220円）などの
レンタルあり。スタジアム型の観覧エリアからは臨場感ある観覧が可能。
さらに、隣接する芝生のエリアでは、BBQや合宿なども可能。



主なスポーツ関連施設④（する）

「横須賀市うみかぜ公園 BMXパーク」

所在地：神奈川県横須賀市平成町3丁目2-3
アクセス：京急本線「県立大学駅」から徒歩約15分 他
利用時間：4月～9月 9:00～19:00
10月～3月 9:00～17:00
料金：土日祝日（2時間料金）の市内在住の例
小人 会員 200円、一般 300円
大人 会員 500円、一般 600円

・2022年7月に開催されたBMX「Japan Cup Yokosuka」で使用した大会用パーク（複数のジャンプ台を組み合わせた競技施設）が、（一社）全日本フリースタイルBMX連盟との連携協定の締結。

・BMXのダートコースや、スケートボード、3×3などのアーバンスポーツを楽しめるスポーツ広場に、新たに『うみかぜ公園BMXパーク』として10月29日にオープン。

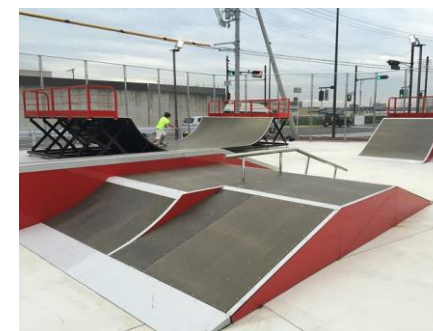


「スポーツパークまつばら」

所在地：大阪府松原市三宅西7丁目1040番1外
アクセス：あべの橋【天王寺駅東口】からバス
「三宅中」下車 他
開館時間：9:00-23:00
利用料金：一日あたり 550円

・2015年7月にオープンした、大阪府松原市に位置する複合スポーツ施設であり、約850平方メートルのスケートパークと、3面のフットサルコートが備わっている。

・初心者から上級者まで参加できる様々なバリエーションを備えたクラス別レッスンを監修。



写真提供：スポーツパークまつばら

「人工サーフィン施設 （citywave）」

所在地：茨城県猿島郡境町西泉田1230-1
アクセス：東京駅から境町高速バス 他
開館時間：7:00-22:00
入場料金：キッズ：8,910円
初級・中級・上級：10,780円

・ハワイ州・ホノルル市と姉妹都市協定を結んでいる強みを生かし、親子で楽しめる人工サーフィン場を整備。

・サーフィン以外にも、SUPやヨガ等の体験会を実施し、利用者の健康増進のほか、様々なイベントを実施し、満足度の向上を図っている。



写真提供：city wave Tokyo sakaimachi

参加型や体験型のスポーツへの支援

・観光庁の観光再始動事業（観光庁令和4年度補正予算）において、インバウンドの本格的な回復を図ることを目的として、音楽・伝統文化の他、**参加型や体験型のスポーツにおける体験コンテンツ・イベントの創出等を支援。**

表.「観光再始動事業」における第一次公募の採択結果例

申請者名	事業名
(公社) ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ	B.LEAGUE ALL★STAR GAME 交流型ホスピタリティツアー@沖縄
(公財) 日本バスケットボール協会	FIBAバスケットボールワールドカップ ホスピタリティパッケージ@沖縄
(株) コンサドーレ	札幌市×プロスポーツクラブ連携「北海道観光ショーケース型観戦商品販売」事業
(一財) 九州観光機構	「世界水泳・世界マスターズ水泳」・「ツール・ド・九州」を起爆剤としたインバウンド九州誘客・観光消費促進事業
(一財) 福岡コンベンションセンター	世界水泳選手権2023福岡大会及び世界マスターズ水泳選手権2023九州大会を起点とした日本文化体験事業・施設のおもてなしライトアップ
(一社) さいたまスポーツコミッション	「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」をメインとしたSAITAMA Wheel2023の開催
「名取復興・国際サイクルフェスタ」実行委員会	名取復興・国際サイクルフェスタ（仮称）開催事業
釧路市雪体験観光実行委員会	プライベートスキー場で“初めての雪”を満喫！貸切で行う特別体験造成事業。
京都府	日本三景の1つ「天橋立」をはじめとした美しい景色を楽しめるサイクルツーリズムを推進！
北海道	HOKKAIDO LOVE! プロスポーツチームと連携したラグジュアリーツアー
(株) ORIGRESS PARKS	パシフィックリーグ主催の球場内での特別体験企画と日本観光地の周遊体験
ぴあ(株)	ラリージャパン2023 本格的ホスピタリティ商品開発・販売
株式会社ショアフィールド	世界初のエンターティメントが詰まったFヴィレッジ内で行う、日本全国のスキー場へインバウンドを送客する雪上体験施設の設置

本日整理したいポイント

- コロナ禍を乗り越え、今後国内の旅行需要が高まることが予想される。加えて円安を追い風に訪日外国人数もV字回復の見通しである。
スポーツツーリズムによる国内外からの人の移動拡大をスポーツ産業の拡大にどのように生かすことができるかについて整理したい。

具体的には、国内各地のスポーツイベント、スポーツ施設などの魅力を増し、多くの人や産業を引き付けるために、現在どのようなことがおこなわれているのか。さらに、今後どのようなことが必要かを中心に現状と課題を整理したい。

議論の対象(例)

＜するスポーツ＞

- 大会への参加：マラソン大会、スキー、ゴルフ等
- スポーツ体験・実施：武道ツーリズム、アウトドアツーリズム、スキー、ゴルフ
学生スポーツの夏・冬合宿等

＜みるスポーツ＞

- 試合等の観戦：プロスポーツ興行、アマスポーツ大会、国際大会等
- 観光施設：スポーツ団体のオフィシャルショップ、記念館、スタジアムツアー等